

「緑のカーテン」の苗を贈る

小松島ライオンズクラブが5月21日、「緑のカーテン」となるゴーヤなどの苗を市内の小学校や幼稚園、保育所など42か所に贈り、また市役所では来庁者に苗の無料配布を行いました。

同クラブの会員が育て用意した苗は約2,000株。会員らが訪れた南小松島幼稚園では、園児たちがゴーヤ、あさがお、ひょうたんの苗を笑顔で受け取っていました。

緑のカーテンは、つる性の植物を窓の外にはわせて作る日よけのことで、エアコンの消費を抑えることができます。同クラブの苗の配布活動は、子どもたちや市民に省エネや環境問題について考えてもらうため、3年前から継続して取り組まれています。



笑顔で苗を受け取る園児

養護老人ホーム松寿園 火災を想定した防災訓練を実施



2階から負傷者を救助する訓練の様子

5月28日、養護老人ホーム松寿園で総合防災訓練が実施され、同施設の職員や入居者、市消防本部職員ら約60名が火災時の対応を確認しました。

訓練は夜間に火災が発生したとの想定で、施設職員が館内放送や消防本部への非常通報を行い、各部屋を回って入居者を防火区画へ避難誘導していました。2階のベランダには逃げ遅れた負傷者がいるとの想定で、駆け付けた消防本部職員によるはしごを使った救助訓練や同施設への放水訓練が本番さながらに行われました。

徳島赤十字病院 地震・津波を想定した医療訓練を実施



搬送された模擬患者のトリアージを行う医師ら

徳島県の災害拠点病院に指定されている徳島赤十字病院で6月13日、災害医療訓練が行われ、同病院の医師や看護師などの他、被災者役も含め約430名が参加しました。訓練では、震度6強の地震発生後の大津波警報発令時と解除後を想定し、同病院へ一次避難される住民への対応や、被災現場から搬送される負傷者の重症度などにより治療の優先順位を決める「トリアージ」の実施など、実践的な医療救護訓練が行われ、多数の模擬患者が次々に運び込まれる同病院は緊張感に包まれていました。

受け継ごうきれいで豊かな瀬戸の海 「リフレッシュ瀬戸内」海浜清掃



清掃活動する大勢のボランティア

「リフレッシュ瀬戸内」海浜清掃が6月13日、横須・金磯海岸で実施され、地域住民や市内事業所の従業員ら約1,000名がボランティアに参加し、1時間程度の活動でおよそ4.5トンのごみを収集しました。海岸では、水質浄化を目的とした幼稚園児たちによる「あさりの放流」や徳島海上保安部の海上保安官と小学生らによる「漂着ごみ調査」も行われ、参加した子どもたちは美しい海を守ることの大切さを楽しく学んでいました。